

第2期(前期)「にいがた福祉リーダー塾」

主催:新潟県労働者福祉協議会

後援:新潟ろうきん福祉財団

～労働者自主福祉運動の新たな発展を期しての人材育成をめざして～

2014年7月11日・12日の二日間に渡り、第2期にいがた福祉リーダー塾(前期)を開催しました。前期は、座学と塾生同士の交流をメインにすることにより今回参集した23名の塾生が数年後それぞれの立場で活躍することを期待しています。「第2期にいがた福祉リーダー塾」スタートです。

■ 第1講座

「連帯経済の担い手としての協同組合へ」

この講義では、日本の社会と経済のあり方を考え、労働組合と労働者自主福祉事業団体がどのような活動を展開していくべきかを、経済用語の説明や現在の政治(アベノミクス)等を踏まえて、連帯経済を推進するための労働組合・協同組合の課題を多方面から詳しく解説していただきました。



■ 第2講座

「これからの日本社会と協同組織事業に期待するところ」

この講義では、現在の時代背景、社会情勢、動向を世界的視野からわかりやすく解説していただきました。



■ 第3講座

「これからの労働者自主福祉運動と労福協に求められる役割」

この講義では、基本中の基本である「労働者自主福祉運動とは何か?」「労働者自主福祉事業団体と労働組合との関係」「なぜ、私たちは労働者福祉運動に取り組むのか」を歴史的観点、そもそも中央労福協とはどんな団体なのか、役割とその時代による役割の変化、私たちが暮らしている時代背景、これから求められる役割の発揮をどうすすめるべきかをわかりやすく解説していただきました。



■ 第4講座

「新潟県内のNPO活動の現状と労福協との連携」

この講義では、参加者になじみの薄いNPOについてNPOの活動範囲や「市民による公益活動5原則(自発性・共感性・計画性・革新性・公明性)」をモットーに活動していること、また新潟県内のNPOの現状について詳しく解説していただきました。



◆ 交流会

初日終了後に塾生同士の懇親を深める交流会を講師陣も交えて開催しました。それぞれ塾生からひとつずつ意気込みをお話してもらい、労働者自主福祉運動を推進していくリーダーとして構成組織の枠を超えた交流ができたことと思います。ろうきん営業推進部からオブ参加していただきました部長を始め、ろうきん出身者からもひとつひとついただきました。



■ プログラム

《7月11日(金)》

・第一講座

「連帯経済の担い手としての協同組合へ」

・第二講座

「これからの日本社会と協同組織事業に期待するところ～危機の時代のものの見方考え方～」

《7月12日(土)》

・第三講座

「これからの労働者自主福祉運動と労福協に求められる役割」

・第四講座

「新潟県内のNPO活動の現状と労福協との連携」

■ 講師陣

・第一講座

至誠館大学教授

高木 郁朗 氏

・第二講座

早稲田大学教授

田村 正勝 氏

・第三講座

中央労福協事務局長

大塚 敏夫 氏

・第四講座

新潟NPO協会代表理事

金子 洋二 氏

編集後記

今回のリーダー塾は2回目(第2期)となりました。私たち事務局も将来このリーダー塾受講生が第一線のリーダーとして活躍する人材が多く輩出できることを念頭に置きながら、運営にあたっています。願わくば、第一期生19名と第二期生が一緒になって輪を広げていくことを期待しています。因みに第一期修了生の一部は、懇親会を重ね感謝合わせを行い、手始めにNPO等市民活動団体への関わりを模索する計画を立てているそうです。(M.I)